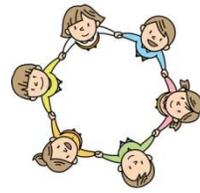


# 心の輪31R



『ジョイス』という資料を通して、

「誠実な生き方」について考えました！



間違いは誰でもあるから、間違えた分だけ学べば良いと思う。それが、人間が成長してく一つの方法だと思った。

ジョイスがミスをして、次の日にまた審判に出ているとすごいなと思いました。もし自分がミスをして、次の日もう一回審判をすることになったら、気持ちが持たないかもなと思いました。

テニスで、私のペアの子がアウトしたのに審判が気付かなくて、そのままラリーが続いて、私がスマッシュして自分たちの点になったとき、フェアプレーじゃないので自分から審判に、「相手側の点数です」と言いました。ジョイスもガララーガも、スポーツマンらしくて格好良いと思いました。

ジョイスがミスをして、次の日にまた審判に出ているとすごいなと思いました。もし自分がミスをして、次の日もう一回審判をすることになったら、気持ちが持たないかもなあとと思いました。私もジョイスのように、誤審をしても、正しい判断ができるようになりたいと思いました。

きっと翌日の試合に出ていなかったら、世間から「ジョイス＝悪者」はなくなっていなかったと思う。世間の声に耐えながら、逃げずに謝罪し続けたジョイスは、とても格好良いと思う。自分だったら逃げていたと思う。でも、「No.1 審判員」に輝いたジョイスは、とても頼もしい存在に変わっていったのではないかなと思う。

人は誰でも失敗したり、間違えたりするけど、その間違いをからかったり、悪者にしたりするのはおかしいと思う。みんなと和解すれば良いと思う。



この時間を振り返って、私は、誤審をしてしまったジョイスが翌日、審判に戻ったのもすごいけど、誤った判断をされたガララーガのジョイスを許す心がすごいと思いました。

たった一つの失敗で、一生後悔することになるかもしれない。でも、その失敗を乗り越え、強くなった人もいます。大事なのは失敗から逃げるのではなく、その失敗を全て受け入れ、前へ進むことではないかなと思った。

私は、この時ジョイスが、自分が言ったことを曲げなかったこともすごいと思った。ジョイスの曲げない心と潔さは、人として恥ずかしくない生き方だと思う。

ガララーガのように、大きな心を持ち、ジョイスのような、自分の過ちに気が付いても、そのことに関して逃げたりしないような人になりたいと思った。

自分が大きなミスをしてしまって、完全試合を潰してしまっただけでも辛かったはずなのに、報道で何を言われても、はっきり謝罪できるのはすごいことだなと思いました。スポーツじゃなくても、自分のミスを認めて、きちんと謝罪することが大切だと思いました。